

# 県内経済とくらしむき

## 長崎県県民生活部統計課

### 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 6月

平成29年6月1日の推計人口 1,356,536人  
世帯数 563,209世帯

参考：H27.10.1 現在国勢調査総人口：1,377,187人、  
世帯数：560,720世帯

#### 1 推計人口

平成29年6月1日現在の推計人口は、1,356,536人で、前月(1,357,270)に比べ734人の減少となった。

市部では大村市(76)、諫早市(36)の2市で増加し、長崎市(420)、雲仙市(81)、五島市(51)、平戸市(50)、南島原市(50)、西海市(38)、佐世保市(36)、壱岐市(24)、対馬市(15)、島原市(12)、松浦市(2)の11市で減少した。

郡部においては佐々町(18)、川棚町(5)の2町で増加し、長与町(23)、波佐見町(17)、東彼杵町(15)、時津町(13)、新上五島町(13)、小値賀町(9)の6町で減少した。

自然動態は、出生数932人、死亡数1,506人で574人の減少、社会動態は、転入者数3,261人(県内転入を含む)、転出者数3,421人(県内転出を含む)で、160人の減少となった。

#### 2 世帯数

平成29年6月1日現在の世帯数は、563,209世帯で前月(563,406)に比べ197世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

### 【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…4月

1人あたり現金給与総額 257,845円  
対前月比 4.7%減少  
対前年同月比 0.2%増加

#### 1 賃金

4月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額257,845円で、前月に比べ4.7%減少し、前年同月に比べ0.2%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は250,306円で、前月に比べ0.5%減少し、前年同月に比べ0.1%減少した。

特別給与額は7,539円で、前年同月に比べ、876円増加した。

#### 2 労働時間

4月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は161.3時間で、前月に比べ1.1%増加し、前年同月に比べ0.1%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は147.9時間で前月に比べ1.0%増加し、前年同月と比べ0.3%減少した。

所定外労働時間数は13.4時間で、前月に比べ1.5%増加し、前年同月に比べ4.0%増加した。

#### 3 雇用

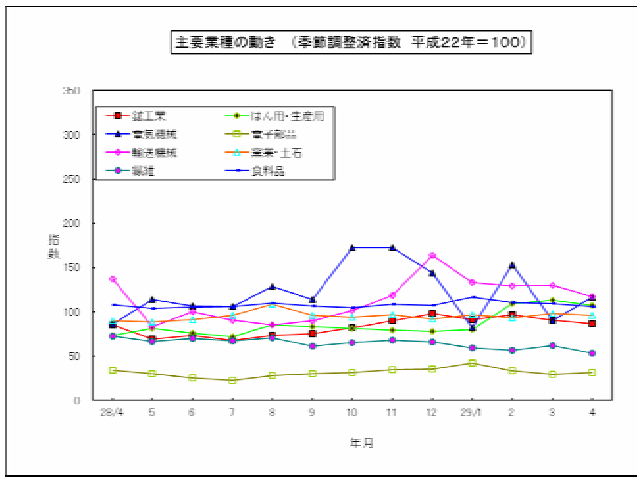
4月の常用労働者数は213,408人で、前月に比べ1.8%増加し、前年同月に比べ0.2%減少した。

### 【鉱工業生産指数】……………4月

平成29年4月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
		前月比(%)		
長崎県	86.9	4.1	88.3	3.6
九州	112.3	3.6	103.3	16.6
全国	103.8	4.0	98.2	5.7



平成29年4月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が86.9で前月比は4.1%の減、原指数は88.3で、対前年同月比は3.6%の増となった。

業種別にみると、電気機械工業、電子部品・デバイス工業など6業種が上昇し、繊維工業、輸送機械工業、はん用・生産用機械工業、食料品工業、窯業・土石製品工業など7業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	29.6	6.9	交流発電機
電子部品・デバイス工業	6.4	10.9	シリコンウエハ

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
繊維工業	14.2	27.9	織物製外衣
輸送機械工業	9.6	3.3	新造船
はん用・生産用機械工業	5.5	40.2	ボイラ
食料品工業	2.9	2.9	清酒
窯業・土石製品工業	1.9	4.6	和飲食器

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 5月

総合指数(H27=100)	100.8
対前月比 (%)	0.3
対前年同月比 (%)	0.7

平成29年5月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、100.8である。

前月比は、0.3%の上昇で、主な上昇要因は「光熱・水道」の+1.3%、「家具・家事用品」の+2.7%であり、主な下落要因は「教養娯楽」の0.3%である。

前年同月比は、平成29年2月は同水準であり、3月は+0.2%と推移した後、4月は+0.4%、5月は0.7%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は100.8であり、前月比は0.3%の上昇、前年同月比は+0.6%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

住居	0.2%
光熱・水道	1.3%
家具・家事用品	2.7%
被服及び履物	0.8%
交通・通信	0.1%
諸雑費	0.4%

下落した費目

教養娯楽	0.3%
------	------

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……5月

消費支出(一世帯当たり) 277,321円  
前月比 46,620円減(14.4%減)

平成29年5月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は277,321円で、前月比14.4%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は101.1%であった。

主な支出内容	支出額(円)	前月比 (%)
食料	68,869	2.2
住居	17,290	6.3
光熱・水道	23,215	13.3
交通・通信	35,488	4.3
教養娯楽	20,386	9.2

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。